

2020年 7月1日

有限会社コスモライフにおける感染予防対策

1. 課題の背景:

営業現場は一般に屋内なので、3つの密が重なる場面が発生します。

個人のご自宅や取引先企業の事務所や休憩室、狭い空間での説明。また、朝礼などでの説明会は大きな声で話します大声を出すとその分飛沫が飛びやすく、感染リスクを高めることになります。さらに、新型コロナウイルスは、無症状であっても呼吸量が増える活動時に感染事例が報告されています。大きな声は出さない自宅訪問でも、面談する場合は接触機会が増えます。この点でも感染リスクを高める可能性があります。来店対応は、相談の内容が外部に漏れないようにするため、密閉空間での時間を過ごすこともリスクの一つで、感染者が入室すると感染拡大につながってしまうことが懸念されます。

2. コスモライフでできる対策:

- 密閉空間となる場所を洗い出し、人との距離を保つようにする
- 対策に要する費用については、社内の協議を行う
- 接触感染を防止するための対策を行う
- 発熱などの体調不良者が出た場合の対策を行う

1) 密閉空間となる場所を洗い出し、人との距離を保つようにする

事務所、休憩室はもちろんのこと、建物内の空間など、換気が不十分になる可能性のある場所を確認します。また、大声で話をするのは飛沫感染のリスクを高めることになります。

- 休憩室など、一度に集まらないように時間を分け、窓を開けるなど換気を行う
- 事務所での打ち合わせでも人が密集しないようにする
- 訪問中の狭い空間で営業を行う場合も、玄関外や換気を確認して訪問する
- 作業は1人で行う、または、複数名で行う場合は分担するなど、できるだけお互いに距離を取って行う
- 朝礼や終礼でも距離を開け、必要に応じてZoomなどを利用する
- 社内でも昼食をとるときや休憩するときも対面を避け、最低1m以上離れる
- 距離を取ることが難しい場合には各人がマスクを必ず着用する
- 日頃から、コミュニケーションをとる
- 社員以外の入室(例:取引先営業担当者など)がある際も、入室者にマスク着用や手指消毒を求めるとともに、対応者も最低1m以上の距離をとるようにする

2) 感染拡大防止対策のため、必要に応じて社内の業務変更など協議を行う

- 社内における密集を避けるための、在宅ワーク、時間差出勤、業務シフト等の取り決め
- 在宅ワーク、時間差出勤、業務シフト等に伴う拡張費用
- 社員のマスク、PC・室内・車の消毒液、ゴーグル、シールド等の購入・リース費用
- 遠隔操作やテレビ会議等のための機材・通信費

3) 接触感染を防止するための対策を行う

営業先によっては手洗い場が限られるなど、こまめな手洗いが難しいことも想定されます。

- 共用を避け、ペーパータオルを使う
- マスクを着用し、顔を触らないように注意する。
- 社有車やPCを共有する場合は、ハンドル、チェンジレバー、ドアノブ、端末のボタンなどで触れる頻度の多いところをアルコールや次亜塩素酸ナトリウムによる拭き取り消毒を行う

4) 発熱などの体調不良者が出た場合の対策を行う

社員が入れ替わりながら働くことになるので、体調不良者が入室することのないように全員と事前に十分に確認しておきましょう。

- 出勤前に体温測定をして、発熱などの風邪症状がある場合は出勤を控えるようにする
- 朝礼の際に体調を確認する
- 社内でも体温を測ることができるよう、体温計を備える(予定)
- 体調不良から回復した社員の職場復帰の手順を定めておく
- 社員及び社員以外の入室者(例:取引先営業担当者など)があった場合も、日時、氏名、連絡先などを控えておき、万が一感染者が出た場合には連絡を取れるようにしておく

5) 発熱した場合の対応

- すべての症状が消失してから72時間(3日)の自宅待機期間をもつ
- 職場復帰後も4週間程度は衛生対策の徹底と毎日に健康観察を続ける
- 職場の3密がないかチェックし、極力そのような状況を避ける
- 濃厚接触が疑われる場合は、2週間程度は衛生対策の徹底と毎日の健康観察を続ける

6) 面談・訪問時の対応

- 体調の確認をする(体温37度以下で、咳などの症状が無いこと)
- 面談時間を45分以内にする
- 面談場所①自宅の場合は、玄関先や縁側など換気できる場所
 - ②店舗等の場合は、3密とならない場所を選定し、横並びか互い違いでの着席
 - ③来店の場合は、来店スペースを使用し3密を避け、仕切り等を設ける
- 全員が、マスクの着用と目前で手指の消毒をする
- 共用部分は、使用後の消毒を行う

有限会社コスモライフは、全員で感染予防に取り組みます